

令和 5 年度



千代田区立九段幼稚園

園長 横澤 峰紀子
PTA会長 吉 峯 裕 毅

所在地 千代田区三番町16
電話 03(3263)0567
FAX 03(3263)0731
最寄り駅 JR 市ヶ谷駅
地下鉄 市ヶ谷駅
半蔵門駅

I 教育の概要

1 学校・地域の特徴

本園は、都会の中で緑に恵まれた環境にあり、周囲には私立小中学校、高等学校、大学、大使館などがある。また、靖国通りに面して古くから商店街が形成され、史跡なども点在しているところから訪れる人が多く、落ち着いた雰囲気の中で、人・自然・文化が調和された美しい環境にある。

在園されている家庭は、教育に熱心な家庭が多く、協力的で、PTA活動であるさつき会も充実している。地域には、国家公務員や地方公務員の官舎があり、他の地域から転入してきた家庭が多い。

2 教育目標

(1) 園の教育目標

人権尊重の精神を基調として、しなやかでたくましい心と体をもつ幼児を育てるため、次の目標を設定する。

- げんきな子 自ら進んで環境に関わり 頭と心を働かせ 体を使って活動する子
- やさしい子 自分の事として考えを巡らせ 思いを馳せ 思いやって行動する子
- ◎ くふうする子 興味・関心をもったことに 想像を膨らませ 創造して表現する子

(2) 園の教育目標を達成するための基本方針

- 幼児や保護者・地域の実態を捉え、地域社会と共有し、園経営方針と教育課程をもとに、学期ごとに全教職員で実施状況を確認し、多角的に評価を行い、具体的な改善策をもとに、組織的・計画的に教育活動に取り組み、質の向上を図る。
- ◎ 安心・安定できる環境をつくり、教師との信頼関係を基盤に、自己を十分に発揮し粘り強く取り組もうとする意欲や態度を培う。
- 日常的に身体を動かすことの楽しさを十分に味わえる体験を重視すると共に、自分の体に関心を持ち、自ら健康で安全な生活をつくり出せるよう働き掛ける。
- 自分と同じように友達のこと大切なる存在として受け止め、人と関わる経験を重ねる中で、互いの違いやよさ、多様な人の存在を知り、親しみや信頼をもてるようにする。
- 多様な人と協働しながら遊びや生活に主体的に取り組めるように働き掛け、教育の充実を図る。
- 持続可能な社会づくり、またその創り手を育むために身近な園内の環境から大きな環境問題等にも気づき、自分の問題として考えたり予測したりするなど、主体的にできることからやってみる意識を高め行動できるよう、推進する。
- 全教職員と保護者、並びに全ての学校関係者が協働し、各専門性を総合的に発揮することで幼児を多面的に理解し、個の発達や特性に応じた指導を推進する。
- 近隣の保育所等との連携を図り、発達や学びの連続性を考慮した小学校への進学に向け、就学前教育施設のパイプ役として、小学校と円滑に接続できるよう推進する。
- ◎ 多様な、また自国の伝統や文化、考えに触れ親しめるように直接体験を重視した国際教育や日本の伝統文化、年中行事等に触れる機会を計画的に取り入れる。
- ◎ 身近な環境に興味や関心をもって関わり、具体的で直接的な体験を通して自ら考え、想像する力や創造する力、それらを様々な方法で表現する力を培う。

2 指導の重点

(1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

幼児一人一人の興味関心に基づき自発的な活動をする中で、自分の力を十分に発揮し、充実感や満足感、達成感を味わえるよう、発達や年齢に応じた適切な環境を整え、3年間、更に将来を見通した教育を教職員が連携して計画的に行う。

(3歳児)・幼稚園に喜んで登園し、自分の好きな遊びを見つけてじっくりと楽しむ。

(4歳児)・興味や関心を広げ、友達と関わりながら遊ぶことを十分に楽しむ。

(5歳児)・目的や見通しをもち、友達と協力しながら遊びや生活に取り組み、充実感を味わう。

- ◎ 夢中になって遊びこみ、学びに向かう力を育めるよう、幼児一人一人の居場所をつくり、経験している内容を読み取りながら、主体的・対話的で深い学びが実現するよう指導の改善を図る。
- 体を動かすことの楽しさや充実感を味わいながら、健康な体や体づくりに関心をもち、意識して取り組めるよう、年齢発達に応じた動きや運動遊び、コーディネーショントレーニングや足育などを取り入れ、学校2020レガシーとして位置付け、取り組む。
- 多様な人々に親しみをもって接し、道徳性の芽生えや人権感覚、国際感覚など人と関わる力を育むために、教師との信頼関係を基盤にしながら葛藤体験や協同する体験を積み重ね、自分の考えや表現の方法を広げられる経験を重視する。
- 身近な資源や自然環境等を大切にしようとする気持ちが育まれ、日常的に節電や節水を心掛けたり、材料等を無駄なく使ったりなどできるよう、生活や遊びの中の具体的な場面で声を掛けたり、掲示等に気付かせたりする。また、そのような行動が、持続可能な社会づくりにつながっていくことを、発達段階に合わせて知らせていく。
- 自国の伝統文化に親しみ、日本や自分たちが住む地域に愛着や誇りがもてるように、生け花体験「はなとともだち」、音楽鑑賞「雅楽」などを実施すると共に、「フラワーロードの会」で地域の環境づくりに参画する。生活の流れの中で自然に、また必然的に取り組めるよう、事前や事後の活動を工夫し計画的に進める。また、異なる文化へも関心が広がるよう、外国籍の幼児の母国などから関心を広げ、異文化にふれる機会をつくり、国際理解の意識の芽生えを培う。
- ◎ 豊かな心情や感性、表現する力、新しい視点で物事が考えられる力を育むために、身近な自然環境を活用した遊びや表現活動、絵本の読み聞かせ等を重視し、さらに、経験の広がりを見据えた、特色ある教育活動としての講師の招聘や有効な情報機器の活用も積極的に行う。

(2) 環境の構成

- 教師に安心感や信頼感をもち、安心して園生活を送ることができるように、担任を中心に職員間で幼児の姿についての情報交換を密に行い、全職員が一体となり幼児一人一人を見守り、育てていくための環境を整える。
- 体を動かす楽しさを十分に味わうために、また、一日の流れの中で、動と静の動きを組合せ、一人一人が夢中になって遊びこめるよう、園庭やピロティ、併設小学校の施設、また、東郷公園などを活動に応じて活用し、年齢・発達に合った動きや運動遊び、環境を意図的・計画的に取り入れていく。
- 多様な人との関わりの中で親しみを深め、互いを尊重する気持ちがもてるように、遊びや生活の中での日常的な異年齢交流に加え、保育園（東郷公園での遊び・外部講師を招いた交流・日常の遊びの交流など）、小学生（中休みのふれあい・行事の取組の見学など）地域の方（ポッチャ体験・読み聞かせ・フラワーロードの会）保護者（カンガルータイム・行事のボランティア）との交流を行う。
- ◎ 身近な自然環境や四季折々の事象に直接触れる中で、興味や関心を広げ、豊かな感性が育まれるよう、計画的に年間の見通しをもって植物等の栽培をすると共に、幼児と一緒に考えながら園庭環境を見直し、作り変えていく。また、自然に関する職員研修を通して自然物の保育への生かし方や環境の作り方を学び、豊かな保育を展開できるような環境の提示や設定の仕方を工夫する。
- 持続可能な社会をつくっていくために、自分たちがどのようなことをしていくことができるのか、子どもたちが考えるきっかけとなるよう、幼児が親しみをもっている本園のキャラクターの「九ちゃん」が語っている表示などを園内の適した場に掲示し、日常的に目に触れるような環境をつくる。

(3) その他

- 遊びや生活の中で危険を予測しながら過ごす態度や自分で考えて判断する力を育む。また、身体や健康、安全のことや自分らしくあることなどについての知識を養い、自分の身を自分で守る力を育めるよう、教育活動全体を通して安全教育を行う。
- 特別に支援が必要な幼児が安心して過ごし、よりよい成長ができるようにするために、特別支援教育コーディネーターが中心となり、スクールカウンセラー、巡回アドバイザー、特別支援学校のセンターの機能の活用や関係諸機関の見立てを参考にしながら担任が「教育支援シート」を作成し、副担任、専門員、支援員等園全体で共有して全職員が一貫した支援を行っていく。
- 保護者の幼児教育や本園の教育活動への理解を深められるよう、また、保護者自身が子育ての楽しさ

や、やりがいを感じられるよう、年間を通して計画的に保護者会、保育参加・参観、学級懇談会等を実施する。また、玄関の掲示やホームページ等を活用して日常的な遊びの様子を保護者に知らせ、幼児の育ちを伝える工夫をする。

- 地域に開かれた幼稚園として、未就園児親子が安心して遊べる場を提供できるよう、園開放や園庭開放、在園児と触れ合える日などを設定し、気軽に園に遊びに来られる機会をつくる。また、幼稚園が子育ての支援としての機能を発揮できるよう、子育ての悩みなどを気軽に話せる状況をつくり、教員が専門的な立場からアドバイスしたり、保護者同士で話せる雰囲気をつくったりなどする。
- 園内研究
「生涯にわたり学び続ける姿を目指して」

4 一日の時間

年齢	期間	登園時間	教育時間	降園時間	備考
3歳児	4月10日～4月17日	8:50～ 9:05	9:00～11:00	11:00	
	4月18日～5月8日		9:00～11:20	11:20	
	5月9日～7月3日		9:00～13:00	13:00	
	7月4日～3月19日		9:00～13:40	13:40	毎週水曜日 11:20
4歳児	4月7日～3月19日		8:55～13:50	13:50	毎週水曜日 11:30
5歳児	4月7日～3月18日		8:50～14:00	14:00	毎週水曜日 11:40

5 年間行事計画

期	月	行 事	期	月	行 事
一 学 期	4月	始業式、入園式、定期健康診断始、弁当始(4・5歳児)、保護者会全体会、絵本貸し出し始、学級懇談会、研究保育(預かり保育)、離任式	二 学 期	10月	うんどうかい、芋パーティー、秋季歯科健診
	5月	こどもの日の集い、個人面談始、弁当始(3歳児)、避難訓練(引き取り)、自然となかよし、遠足(4・5歳児)、わくわく弁当参観(3)、定期健康診断終		11月	遠足(全園児)、千代田区一斉清掃日、フラワーロードの会、子育て親育ち講演会、合同子ども会(5歳児)、自然となかよし、研究保育、個人面談、就園時健康診断
	6月	避難訓練(171訓練)、花と友達、開園記念を祝う会、よい歯の表彰式、周年記念式典、千代田区一斉清掃日、クーヨンキッズ(5歳児)、自然となかよし、水遊び指導始、保育参観、遠足(4・5歳児)、わくわく、フラワーロードの会		12月	こども劇場、雅楽鑑賞、ふれあい体験広場、学級懇談会、わくわく、終業式
	7月	みんなであそぼう、七夕会、学級懇談会、なつまつり、終業式	三 学 期	1月	始業式、鏡開き、クーヨンキッズ(5歳児)、カンガルータイム、保護者会全体会、自然となかよし、坪田マンと遊ぼう、なかよし給食(5歳)、連合作品展、バイオリンコンサート
8月	預かり保育(夏季保育)	2月		節分の集い、研究保育、音楽会、発田先生のミニ小学校、保育参観、お別れ遠足(5歳児)、新入園児保護者会、花と友達、	
9月	始業式、総合防災訓練、水遊び指導終、敬老の日の手紙投函、自然となかよし、保護者会全体会、カンガルータイム、遠足(3歳児)、遠足(4・5歳児)、お月見会	3月		ひなまつり会、安全指導実地訓練(5歳児)、学級懇談会、お別れ会、修了式、終業式	

毎月の行事など

※誕生会・避難訓練・安全指導・発育測定：各月1回・お話の国：各月1回・コーディネーショントレーニング：年間7回
 スクールカウンセラー来園：2回・巡回アドバイザー来園：月1回程度
 英語で遊ぼう：年間6回 図書館司書来園：月2回

II 現況

1 園舎施設・規模一覧

現園舎	起工；平成27年10月23日 竣工；平成30年7月31日	保育室	(4) 313.6㎡
園舎構造	鉄筋コンクリート造		
園舎面積	918.0㎡	職員室 その他の室	(3) 79.5㎡
あそび場	屋外 120.0㎡ 屋内（遊戯室）101.0㎡		

2 組編成 R5.4.14現在

総合計55名（男31名、女23名）

年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計	年齢	組名	男	女	計
3歳	ちゅうりっぷ組	10	6	16	4歳	ゆり組	7	7	14	5歳	さくら組	15	10	25

III 沿革の概要

昭5.4.1	東京市上六尋常小学校内に付属幼稚園として設置	昭55.4.1	3年保育開設・保育室増設
昭5.12.15	開園式挙行	昭55.12.5	幼稚園創立50周年記念式典挙行
昭7.4.1	東京市麹町区上六幼稚園と名称変更	昭55.12.5	園歌制定
昭9.8.27	東京市麹町区東郷幼稚園と名称変更	昭56.2.6	公開保育
昭19.4.30	戦時非常措置により休園	昭58.8.	保育室、職員室壁面、床塗装改修
昭21.4.1	再開園。	昭60.4.25	砂場に藤棚設置
	東京都九段幼稚園と名称変更	昭61.6.21	ジャングルジム設置
昭22.3.29	東京都千代田区立九段幼稚園と名称変更	昭62.10.21	園児用便所改修工事
	小学校創立60周年、幼稚園創立33周年記念式典挙行	昭62.12.10	千代田区教育委員会研究協力園研究発表会「幼児の発達に即した望ましい教材とその指導法について…音楽リズムを通して…」
昭39.3.	園旗制定	平2.6.21	保育室改修
昭43.11.14	公開保育	平2.8.31	ピロティ人工芝設置
昭48.4.1	園児増のため、ピロティに保育室1、職員室1増設	平2.12.1	創立60周年記念式典挙行
昭51.11.5	公開保育	平4.3.11	藤棚改修工事
昭53.10.3	砂場設置	平4.11.6	公開保育
平5.4.1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立千代田九段幼稚園となる。	平5.2.12	ピロティ改修（保育室、教材室）
平6.1.1	学校設置条例の改正に伴い、東京都千代田区立九段幼稚園となる。		
平7.6.3	園歌、園章、園旗を制定し、開園記念日とする。		
平8.11.23	千代田区教育委員会研究協力園研究発表会「主体的に生活する幼児の育成を目指して」		
平10.2.27	全国小学校道徳教育研究会のため研究保育		
平11.2.2	保育研究会		
平11.11.3	プレイスカラプチャー撤去、土山を設置		
平15.3.18	千代田区教育委員会研究協力園「子どもも保護者も楽しい幼稚園」を誌上発表		
平15.6.3	幼稚園開園10周年記念式典挙行		
平15.12.12	千代田区教育委員会研究協力園「子どもも保護者も楽しい幼稚園…絵本を媒介とした家庭との連携を通して…」研究発表		
平17.7.25	園庭及びピロティにスピーカー設置		
平22.11.26	千代田区教育委員会研究協力園研究発表会「一人ひとりの自己肯定感を高めるために…感じる・考える・伝え合う…」		
平24.4.1	東京都教育委員会「自尊感情や自己肯定感を高めるための教育」推進園となる。		
平24.12.7	東京都教育委員会「自尊感情や自己肯定感を高めるための教育」推進園研究報告		
平25.4.1	園児増のため、『みんなの部屋』を5歳児保育室にする。		
平25.6.3	幼稚園開園20周年記念式典挙行		
平27.9.1	園舎改修に伴い仮園舎に移転		
平29.1.20	園内研究発表会「元気いっぱい九段の子～健康な体と強い心を育てる～」		
平30.9.3	新園舎完成により、三番町へ移転		
令4.12.9	千代田区教育委員会研究協力園研究発表会「生涯にわたり学び続ける姿を目指して」～夢中になって遊びこむ経験を通して学びに向かう力を育む～		